

アカコッコ

三宅・多摩だより

第4号 平成12年10月28日発行

発行 三宅島と多摩をむすぶ会
編集委員会
代表 干川 剛史
大妻女子大学人間関係学部
東京都多摩市唐木田 2-7-1
Tel.042-372-9195,
Fax.042-372-9209
E-mail: hoshikawa@otsuma.ac.jp
「三宅島と多摩をむすぶ会」事務局
多摩市関戸 6-12-1 多摩市役所自治労
多摩市職員組合事務所内
Tel.042-357-7012,
FAX.042-357-7013

この情報紙はホームページでも
見ることが出来ます。
<http://miyakejima.injapan.net/>
<http://www.miyakejima.net/tam-a-tayori/>

「三宅・多摩だより」は、今
号から「アカコッコ」三宅・多
摩だより」になりました。三
宅島の皆さんの思いとともに、

「三宅多摩だより」の 正式名称決定

お知らせ

<お知らせ>

「三宅多摩だより」の正式名称決定

インフルエンザについて

三宅島の皆様への「むすぶ会」の物資支援活動について

三宅島被災住民に対する上下水道料金の減免措置について

多摩市在住の三宅島の避難者に対する下水道料金の免除について

多摩市の各種サービスが隣接市の避難者にも利用できます

三宅の方が南大沢福祉センターのボランティアセンターに常駐決定

<ご報告>

南大沢市民センタープレイルームでの育児学級について

大妻女子大学多摩祭で三宅島特別展

ベビーカーバンク実績

稲刈りに、三宅島の人たちも参加

大和市のフーラメンコショー 盛況に終わる

<催し物のご案内>

都立大学で法律相談受け付けます

都立祭で三宅島特別展を実施

力ラオケや高齢者の食事懇談会にご招待

チャリティコンサートへどうぞ!

ミュージカル公演 『A COMMON BEAT』にご招待

「多摩・まなび」の集いへのお誘い

インフルエンザにつ いて

八王子市別所の服部クリニック、服部 晃先生よりインフル
エンザの予防接種についてお知
らせいただきました。

「今年も十月下旬より接種開
始致しますが、任意接種ですの
で希望者を対象に有料で行って



三宅と多摩をむすぶ情報紙に
という思いを込めました。「ア
カコッコ」という名称を提案い
ただいた菊地さんにも了解を
いただきました。皆さん、新し
い名称、宜しく願います。

おります。料金に関しては医療
機関により異なります。

今年から厚生省は「13歳以
上の人はインフルエンザに対し
ての免疫が多少なりともあると
思われるので、13歳以上の人
は、2回接種しなくても1回で
も十分に免疫効果あり」という
見解を発表しました。ですから
当院でも基本的に13歳以上は
1回で、それ以外の方は2回で
予約を受けております。

昨年インフルエンザに罹患し
た方は一般的に免疫がある為、
今年はいかからないと思います。

しかしながら、「三宅島では
インフルエンザにかかる人がほ
んどいない」とのことです。か
ら、三宅島からの方は多摩地区
の住民よりインフルエンザに対
しての免疫力が弱いという無
為、もしインフルエンザが流行
し出したら罹患される方がかな
り出ると思います。

インフルエンザの特効薬も
ありますが予防薬ではないので
やはり罹りたくなければ注射し
かないと思います。

ついでに幾つか言いますと、

年内に済ましておいたほうが良いでしょう。6ヶ月以上の赤ちゃんでも受けられますが、もし保育園とかに通っていないければ、本人が受ける必要はありません。心配でしたらウイルスを運んでくるのは大人ですから、親が受けるべきです。

結局のところ、三宅島の方はインフルエンザのワクチンを接種した方が良いと思います。

なお、当院においても、ワクチンに限りがありますので、接種できる人数は、先着順で、可能な限りとご了解ください。

(編集委員会から)

インフルエンザのワクチン接種ができるもよりの医療機関について問い合わせは、居住地域の保健所でできます。

・八王子保健所

電話0426-45-5111

・南多摩保健所(管轄地域:多摩市/稲城市/日野市)

電話042-371-7661

・町田保健所

電話0427-22-0621

その他の地域の保健所については、第2号でお知らせした「ひまわり」テレフォンサービスで問い合わせできます。

△<http://hinawari.tokyo-npc.org/>△

・24時間医療機関案内
電話03-5272-0303

・聴覚障害者向け専用ファックス

FAX03-5285-8080

△都内の医療機関、夜間休日診療医療機関、健康診断、などの情報を、提供しています△

三宅島の皆様への「むすぶ会」の物資支援活動について

物資マッチングシステム、スタート!

多摩ニュータウンに避難されてきた三宅の皆さんに支援物資を届ける活動がスタートしました。10月19日に各団地の世話人を通じて「物資リスト」に丸をつけていただくようお願いをしました。

町田市と八王子市の長房、大和田地区に避難されている皆さんには郵送で「物資リスト」をお送りしました。お手元に届きましたでしょうか?

現在、皆さんが丸をつけてくれた「物資リスト」を回収しているところです。(都合で世話人までお届けできなかった方は、南大沢福祉センターの懇談室の箱に、または、八王子市南大沢2-27 八王子市南大沢福祉センター内ボランティアセンター「三宅島支援」担当まで郵送して下さい。)

八王子市の民生委員が集めてくれた支援物資の中から皆さんの希望された品物をお届けします。市民から提供して頂きますので、必ずしも希望の品物が見つかるとは限りませんのでご了承下さい。

(文責:三宅島と多摩をむすぶ会代表 生田茂)

三宅村から避難された方々に対し、区部・多摩地区の都営水道料金及び区部・多摩ニュータウン地区の下水道料金を減免することとなりました。これは、平成12年第3回都議会定例会において議決された「三宅島被災住民の水道及び下水道料金の減免に関する決議」の趣旨を踏まえて実施されます。

なお、すでに実施している水道料金及び下水道料金の納期限延長については、継続して取り扱います。

・対象者

三宅島からの避難者である給水契約者

三宅島からの避難者が親族等の住居へ入居している場合は、当該住居の給水契約者

・減免内容

水道料金は基本料金、下水道料金は1月当たり8立方mまでの分に係る料金を免除とします。

・適用期間

避難指示日の属する月分まで遡及して適用となります。

避難指示が解除された日の属す

三宅島被災住民に対する上下水道料金の減免措置について

る月分及びその後の3か月分まで。

・受付方法

原則として、申請により受け付けます。なお、三宅村役場から依頼があった場合は、申請があったものとみなします。

・申出先

区部：最寄りの水道局営業所
多摩地区：各市町の水道部・課等
（多摩ニュータウン地区の場合は多摩ニュータウン水道事務所）

・水道料金についての問合せ先
区部：東京都水道局営業部業務課

電話 03-5320-6426
多摩地区：東京都水道局多摩水道対策本部調整部業務指導課

電話 042-527-3308
下水道料金についての問合せ先
区部：東京都下水道局業務部業務課

電話 03-5230-6573

多摩ニュータウン地区：東京都多摩都市整備本部建設計画部施設整備課

電話 03-5320-5151

多摩市在住の三宅島の避難者に対する下水道料金の免除について

三宅島から避難されてきた方は、なれない土地での生活を余儀なくされるなど、厳しい状況下にあることから、多摩市では今後、多摩市の管理する多摩市公共下水道地区（ニュータウン地区を除く）に避難されてきた三宅村住民の下水道使用料については、多摩市下水道条例第25条第1項の規定により免除いたします。

免除対象者、免除期間は次のとおりです。

1 対象者：三宅島から避難されてきた三宅村民と確認された者
ただし、一つの住居に複数の世帯が入居している場合には、その代表者

2 期 間：三宅島火山災害における避難命令が解除されるまでの間

3 使用料：免除

・問合せ先：多摩市役所環境部下水道課

電話 042-338-6842

（多摩ニュータウン地区にお住まいの方は）

東京都多摩都市整備本部建設計画部施設整備課

電話 03-5320-5151

多摩市の各種サービスが隣接市の避難者にも利用できます

多摩市では、市の提供するサービスについて三宅島の皆さんが利用しやすいように、弾力的な運用を図ることになりました。

ただし、サービスの内容によっては法制度等によりご利用できない場合もありますので、市が提供するサービスのご利用を希望される方は、多摩市役所までお問い合わせください。

なお、お問い合わせの際にはご希望されるサービスをお知らせください。

・問合せ先：多摩市役所

電話 042-375-8111

（代）

三宅の方が2名、南大沢福祉センターのボランティアセンターに常駐決定！

三宅島社会福祉協議会も参加する「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」の御尽力により、十一月から南大沢福祉センターのボランティアセンターに、三宅の方が2名常駐することになりました。物資マッチングシステムや高齢者の暮らしの相談活動などに携わります。皆さんも、是非、ボランティアセンターに訪ねてきて下さい。

ご報告

南大沢市民センタープレイルームでの育児学級について

10月13日金曜日、南大沢市民センター3階のプレイルームで乳幼児対象の育児学級（仮称）を行いました。

三宅村では月一回村の保健士さんや村立保育園の協力などで

行われていましたが、「三宅と多摩をむすぶ会」の小沼高之先生や、八王子市議会議員高山かつみ先生のご尽力をいただき、できるだけ多くの方に参加してもらえよう周辺9団地の自治会掲示板をお借りしてポスターを貼ったり、HP（インターネットのホームページ）に載せたりした結果、13名の母親と17名の6ヶ月から5歳までの乳幼児が参加してくれました。

三宅村の保育士さんも応援にかけつけてくれ、子供たちは久しぶりに「朝のごあいさつ」の歌をちよつと恥ずかしそうに、でも大きな声で唄ってくれました。そして定番の手遊び歌、「いたずら猫ちゃん」で盛り上がりました。

その後、子供たちは別室で遊んでいる間、お母さんたちだけで話し合いましたところ、はじめは皆さん遠慮がちだったものの、「不足な物ないですか？」の声かけに、「絵本」「おもちゃ」「自転車」「チャイルドシート」などの要望があがりました。

ただ必ず皆さんこうつけ加えます。「ぜひいたくだと思われるとつらいんだけれど」そして「島に帰ればうちにあるのに」。「自宅でそれまでのペースで生活したい」という思いと、「もう帰れない日がくるんじゃないか」という不安のはざままで揺れているのが、現状のように思います。

私自身3人目の子供を7月に産んで、三宅でどう移動するか、1日をどう過ごすかの計画は立てていました。生活のリズムやあり方が急変したことにまだ気持ちや体の動きがついていけずにいます。

避難生活の長期化に伴って、毎日毎日めざましく成長していく子供たちにどうやってつきそっていくかを真剣に考えています。

末筆となりましたが、参加して下さった皆様ありがとうございました。第2回も楽しみにして下さい。

（育児学級についてアンケート結果）

今回の会をどうやって知ったか。

ポスターを見て 3名
HP 島魂の投稿で 4名
偶然声をかけられて 3名

反省・次回に向けての課題

・保健士、栄養士などの専門スタッフの応援を三宅村に望みたい。

・体を動かして遊ぶスペースが欲しい。

・今回参加しなかった（できなかった）人へさらにアピールしていきたい。

（文責：高梨典子さん）

大妻女子大学多摩祭で三宅島特別展

10月21、22日に開催された大妻女子大学多摩祭の「三宅島特別展」にたくさんの方が足を運んでくださいました。

三宅島の方々のみならず、多くの方が三宅島のホームページにアップされている写真や、三宅島の航空写真をご覧になっていました。

会場には「三宅・多摩のおと」という、三宅島の方同士の連絡ノートも置き、みなさんの生の声を聞くこともできました。

大妻女子大学多摩祭の三宅島特別展ブースでは展示と同時に、募金をお願いいたしました。

その結果1万2178円の募金が集まりました。この募金は今後の三宅島の支援のために使わせていただきます。



三宅島特別展の様子（写真）

ベビーカーバンク実

この2週間の間に、B型ベビーカーを2台、ベビーチェアを1脚、こども椅子付き自転車1台を、三宅の方にお届けしました。

そのうち、自転車については、せいがの森保育園倉掛先生から次のようなご報告を頂きました。お父さん、お母さん、3人の子どもさんたちは、自転車をみるや、大喜び。自転車の前の買い物籠にのせていたらしく、これで「立つんじゃないよ、っていわなくてすむ」って。

提供してくれた方も、処分したかったものだし、有効利用できてうれしいといってください、双方ともに喜んでいただけました。

ベビーカーバンク連絡先：三宅島と多摩をむすぶ会事務局
電話 042-357-7012
FAX 042-357-7013
(文責：尾池佳子さん)

稲刈りに、三宅島の人たちも参加

10月初旬、ユギ・ファーマーズの稲刈りに、三宅島の人たちも参加しました。

三宅の人たちが高層住宅で日頃と全く異なった生活に不安を感じているという話を聞き、私達の農作業へのお誘いをしたところ、喜んで参加して下さいました。

60歳から70歳までの5人で、一人の男性はアシタバを栽培しており、島では一番多いだろうといっていました。農作業は素人の私達が教わるようでした。

その日は稲刈りの初日でしたから、芋煮会の昼食に三宅の方たちも招待しました。

「今は収穫の大切な時、そんなときに避難して収穫が出来ない。何のために一生懸命農作業をしてきたのかと考えるとつらい」との意見にショックを受けました。

「この農地を使ってアシタバを植えては、との意見に「来春まで居ないよ。早く帰るよ。」といわれ、その後私達がチャンと育てますからの意見に、「そうだ、早めに帰るときには、置き土産にすればいい。」と言われました。

私達への土産までも考える余裕があるなど、つい先ほどとはうって変わった意見に笑顔が見えました。

すかさず、民宿を経営している女性は、「是非私の所へ来てください。」と私達への招待まで言われました。

避難しているにもかかわらず将来のことを考えている三宅の人たちに何か暖かいものを感じました。そして、「本当の土の上に足を踏めた。ここは三宅に似ている。」という言葉にむしろ私達が救われました。

収穫したサツマイモを皆さんに持っていったもらいました。翌週、「三宅の人たちに分けて食べました。今日は草むしりに来ました。何もいりません。手

伝いです。」どっちがボランティアなのでしょうか。

この人たちによる復興が一日でも早まることを期待します。

(文責：おっさん&ユギ・ファーマーズ)

大和市のフラメンコショー 盛況に終わる

第2号でお知らせした「三宅島災害救援 チャリティフラメンコショー」が10月21日開催されました。当日は大和市長の挨拶をはじめ、二部構成の舞台でした。

当日の収益や寄付は120万円にのぼり、三宅村関係者に目録として渡されました。

三宅島の方も約20名の方が会場に足を運んで下さり、阪神・淡路の震災に遭われた方も応援に駆けつけて下さるなど、大変感動的な舞台になったようです。

「この紙面でもご紹介いただき、有り難うございました」と

舞踊家の山口のりこさんから御礼のメッセージが届きました。
(文責:森川千鶴さん)

催し物のご案内

都立大学で法律相談受け付けます

東京都立大学・短期大学教職員組合では、大学祭参加企画として、「学生・市民・教職員のための法律相談」を移転以来、毎年行っています。新進気鋭の弁護士二人が、相談に無料で親切にお答えします。

あわせて、今年は住宅問題(住宅取得・売買・相続等)の相談もお受けすることになりました。八王子近隣に避難されている三宅島の島民のみなさんの御相談にも応じます。お気軽にお越しください。

・日時 十一月二日(火)

午後1時から4時30分

・場所 東京都立大学情報処理施設前の教職員組合テント

・法律相談 相談員 木村

真実弁護士 (日野市民法律事務所) 他1名

・住宅問題 相談員 佐藤康則
(都立大学嘱託員)

・連絡先 東京都立大学・短期大学教職員組合

電話0426-77-0213
FAX0426-77-0238

都立祭で三宅島特別展を実施

東京都立大学では、十一月二・三日に、都立祭で三宅島特別展を開催します。

当日は、現在の三宅島の様子をとらえた写真等を展示いたします。

簡単な飲み物などもご用意しておりますので、久しぶりの再会の場、情報交換の場としてご利用ください。

皆様お誘いあわせの上、ご来場ください。

京王相模原線南大沢駅下車すぐ。

カラオケや高齢者の食事懇談会にご招待

三宅島の皆さん、こんにちは。

私達は多摩市のコミュニティセンター「トムハウス」の事業部のメンバーです。

三宅の皆さんがニュータウンで避難生活を送られていることを聞いて、「トムハウス」で行なっているカラオケや高齢者の食事懇談会にご招待しよう、ということになりました。

皆さんがお住まいの所からは少し離れていますが、ご興味のある方は是非いらしてください。歓迎いたします。

・トムハウス

多摩市落合6-5

多摩センター駅から鶴牧循環バス(一〇番)鶴牧センター下車徒歩1分

・カラオケ交流会

毎週第1・第3土曜日 1:00 から4:00まで

どなたでも参加できます。

お申し込みは浪岡(042-338-2924)まで。

・高齢者食事懇談会

毎月第2火曜日12:00から70才以上の方。先着5名程度。(全体で50名の食事会です)

お申し込み:トムハウス事務局
電話042-371-8806
「三宅島から来ました」とおしやつてください。

チャリティコンサートへどうぞ!

「がんばれ三宅島!都民交響楽団チャリティコンサート」が、下記の要領で開催されます。

三宅島の皆さんは無料です。お誘い合わせの上、御参加下さい。

・日時:十一月十八日(土)

19:00開場(19:30開演)

・場所:南大沢文化会館 主ホール(当日先着500名様)

・指揮:末廣 誠

・うた:田中三佐代

・演奏:都民交響楽団

・曲目:ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」他

ミュージカル公演『A COMMON BEAT (「モンター」)』にご招待

『A COMMON BEAT (「モンビー
ト」)』は、世界各地の文化に根ざ
した、彩り豊かな歌や踊りで構
成されています。

この物語には、互いの違いを
受け入れあい、共に生きる喜び
を分かちあうことで開かれる、
美しい未来の可能性が示されて
います。

子供たちからお年寄りまで、
幅広い皆様にお楽しみいただけ
るファミリーエンターテイメン
トです。

1. 日時：十一月四日(土)
18:00 開演(17:00 開場)
2. 場所：パルテノン多摩大ホー
ル(多摩センター駅下車5分)
3. 主催：Up With Peo
ple 多摩実行委員会

三宅島の方にチケットをご用
意致します。

10月31日(火)までにお名
前とご連絡先、人数をお知らせ
下さい。公演当日、会場でチケ
ットをお渡し致します。

・連絡先：三宅島と多摩をむすぶ
会事務局

電話 042-357-7012

・メール連絡先(三好) ..

miyo@tri.biglobe.ne.jp

「多摩・まなび」の集 いへのお誘い

先生、保護者、研究者が、学
校でのまなび、学校と地域との
連携を考える「多摩・まなび」
の第4回目の集いが下記の要領
で開かれます。

どなたでも参加できます(無
料)。お誘い合わせの上、どう
ぞ！(詳細は、都立大学、生田
まで 0426-77-2412)
・日時：十一月 四日(土曜日)
午後2時-4時

・場所：せいがの森保育園

・講師：せいがの森保育園 藤森

園長さん

・演題：21 世紀に求められる
子ども像

たつぷりと時間をとって、藤
森さんにお話を伺いたいと思い

ます。

なお、講演の後、ビオトープ
や施設見学をお願いしてありま
す。

せいがの森保育園は、京王バ
ス、堀之内駅から南大沢行き、
または南大沢駅から堀之内駅行
き、長池小学校前下車徒歩2分

(編集後記)

今回初めて編集に加わりまし
た。

編集を進めていく過程で、三
宅島の方達や地域の方達と直に
接し、貴重なご意見を聞く機会
を持てたことを大変嬉しく思っ
ています。

原稿の作成はそれぞれ担当が
決められており、休日や帰宅後
を利用して行いました。

その後、大妻女子大学で、大
学の先生方や東京都立大学の院
生の方達とパソコンを使用して
編集しました。

このようにして、他大学の方
達と交流を持てたことも大変嬉
しかったことのひとつです。

今後も皆で協力し合い、充実
したたよりを作成していけるよ
う心がけていきたいと思えます。

大妻女子大学 椋島美由紀

